

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	配水管拡張事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	水道工務課				
施策	1-7	水需要に応じた水道事業の展開		主管課長	矢幡 哲夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	土地区画整理区域内及び給水区域内の未給水箇所の流山市水道利用予定者	意図	給水区域内全域に給水を可能にする。
事業内容	・つくばエクスプレス沿線の土地区画整理区域内及び未給水地域への配水管の拡張整備。			
事業開始から現在までの状況変化	・つくばエクスプレス沿線区域については土地区画整理事業の進捗に合わせて順次整備を進めている。未給水区域への拡張は、市民の要望と費用対効果を検討する。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	配水管布設延長	8980.50	9354.70	14266.70	m	→→
②	給水普及率	98.74	98.79	99.56	%	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・土地区画整理事業の進捗に合わせて配水管拡張工事を計画しているが、先行工事である造成工事や下水道工事が遅延する場合があります、本年度は9件の繰越事業が発生した。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	326,229,460	282,226,320	512,068,640
事業費(b)(円)	320,600,160	274,776,000	507,388,320
うち一般財源	37,314,000	15,444,000	76,604,400
職員給与費(c)(円)	5,629,300	7,450,320	4,680,320
人役・職員(人)	0.82	1.11	0.71
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・区画整理関連については先行事業との連携を密にし、早期着工や年度内竣工に努める。	③取組における課題(Check)	・土地区画整理事業に伴う先行事業が遅れていることから、配水管の拡張整備が遅延傾向にある。
②H30に実施した取組(Do)	・当初予算延長L=8,4668mに対し、L=14,267mの配水管拡張事業を実施した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・土地区画整理事業者に対し、適正な工程計画を要請する。